

東南アジアの自然と農業研究会

第 109 回研究例会のご案内

第 109 回定例研究会を開催いたします。今回は、人間環境大学人間環境学部の藤本武氏に下記のように報告していただきます。年度末のお忙しい時期かと思いますが、皆様の多数のご参加と活発な討論を期待してお待ちしております。

記

日 時： 2003 年 2 月 21 日（金）午後 4 時～午後 6 時
会 場： 東南アジア研究センター 東棟 2 階第 1 教室
京都市左京区吉田下阿達町 46
川端通り荒神橋東詰め
話題提供者： 藤本 武 氏
話 題： 「エチオピアのテフ栽培：西南部マロ社会における事例から」

要 旨：エチオピアで栽培化され、現在もその地域で主に作られる穀物テフの栽培について報告を行う。テフはその主要な調理法である半発酵の薄焼きパン（インジェラ）が歴史的にもっとも高い価値のおかれる食物であったことから、低い収量にもかかわらず、精力的に栽培されてきた。現在アフリカではトウモロコシがもっとも主要な穀物となっているが、エチオピアでは今もテフが最大の栽培面積を誇る。ただし実際には南部地方で栽培がさかんになったのは、政治的にエチオピア領内に組み入れられた 19 世紀末以降の近年のことと考えられる。発表では西南部のマロ社会における事例をとりあげ、犁、掘棒、手鋤を用いた複数の耕作技術が現在併用されていること、集落によってこれらの使用状況が大きくことになっていることなどを説明し、こうした状況が成立するにいたった歴史的過程や社会的背景について考察する。また、テフ栽培技術のエチオピア南北間での比較なども試みる予定である。

問い合わせ先： 富田晋介 京都大学農学研究科熱帯農業生態学研究室
Tel. 075-753-6352 mailto: tomita@kais.kyoto-u.ac.jp
田中耕司 京都大学東南アジア研究センター
Tel. 075-753-7307 mailto: kktanaka@cseas.kyoto-u.ac.jp

ホームページ： <http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/seana/>